

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		坂町清水線整備事業		担当課 建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間 平成27年度～平成33年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別 法定＋任意
	基本事業	都市計画道路の整備		市民協働
予算科目コード		01-080405-02 補助	根拠法令・条例等	都市計画法，土地収用法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 都市計画決定された坂町清水線（全延長2,620m 幅員16m）の内，平成27年度新たにひがし野土地区画整理から本町地内の県営アパートまでの事業認可を取得した区間477mについて整備を進める。
守谷駅を中心とした環状形を連絡する都市計画道路であり，人の流れや物流にも大きな効果が期待でき，守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び，通学路の安全向上を図る。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び通学路の安全確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう，道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上，通学路の安全確保のため，財源の確保及び部分的な開通も視野に入れ事業を進める必要がある。	3期工区に着手し，一部用地買収を実施。補助金の内示も厳しくなっていることから，土地開発公社を活用して効率的に進める。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
整備済道路延長（m）	0.00	0.00	0.00	0.00	477.00
用地買収面積（累計）（㎡）	0.00	0.00	580.55	834.66	5,452.35
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	国庫補助金及び土地開発公社を活用し，用地取得の成果が向上している。今後も適宜活用し成果を向上させる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	今後も補助金や土地開発公社を活用して効率的に進める。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	105,000	113,112	78,779	129,604	210,253
	国・県支出金	34,870	32,493	27,081	33,000	99,000
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	70,130	80,619	51,698	96,604	111,253
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,612.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	6,609	0	0
トータルコスト		105,000	113,112	85,388	129,604	210,253

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		みずき野大日線整備事業		担当課 建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間 平成27年度～平成33年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別 法定＋任意
	基本事業	都市計画道路の整備		市民協働
予算科目コード		01-080405-04 補助	根拠法令・条例等	都市計画法，土地収用法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 都市計画決定されたみずき野大日線（全延長2,900m 幅員16m）で、平成27年度に事業認可取得した守谷駅周辺区画整理事業区域境界から坂町清水線の交差点部の464m区間について整備を進める。
本市の東西方向を連絡する都市計画道路であり，守谷駅東側の環状線化を進めるとともに，駅周辺に集中する交通を効率的に分散させ，交通の円滑化，利便性及び安全性の向上を図る。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び通学路の安全確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう，道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上，通学路の安全確保のため，財源の確保及び部分的な開通も視野に入れ事業を進める必要がある。	詳細設計，用地買収に着手。補助金の採択額が厳しくなっていることから，土地開発公社を活用して効率的に進める。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
整備済道路延長（m）	0.00	0.00	0.00	0.00	464.00
用地買収済面積（累計）（㎡）	0.00	0.00	290.85	1,256.05	6,532.04
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	国庫補助金を活用し，一部用地取得。また，土地開発公社を活用出来るように取り組んでいる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	今後も補助金や土地開発公社を活用して効率的に進める。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	7,830	14,764	196,300	207,000
	国・県支出金	0	4,306	0	71,500	77,000
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	3,524	14,764	124,800	130,000
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	797.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,268	0	0
トータルコスト		0	7,830	18,032	196,300	207,000

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
総合計画	事務事業名	新守谷駅自由通路線整備事業		担当課 建設課
	政策	快適に暮らせるまち		計画期間 平成28年度～平成30年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別 法定＋任意
	基本事業	都市計画道路の整備		市民協働
予算科目コード		01-080405- 補助	根拠法令・条例等	都市計画法・土地収用法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 延長90m，幅員3.5mの自由通路の整備を，国庫補助金の活用とつくばみらい市，学校法人，守谷市の3者の負担協定により整備する。工事規模，工事の性質から2年間の継続費により早期の供用を目指す。鉄道を跨ぐ工事であることから関東鉄道(株)への工事委託となる。
新守谷駅は，西側からのアクセスしかできず，東側に居住する地域住民にとって駅の利便性が悪い状況であり，東西の連携強化が求められている。また，隣接する小学校の児童は，歩道のない市道や踏切を通過して通学しており，非常に危険なことから通学路交通安全プログラムに新守谷自由通路線の整備が位置づけられている。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
新守谷駅東側に居住する地域住民の利便性の向上，東西地区の連携強化及び通学路の安全確保。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう，道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上を図るとともに、通学路の安全確保を行う。	事業認可の取得及び詳細設計協議の実施。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
整備率（事業費換算）（％）	0.00	0.00	0.00	42.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	補助金を活用した3者（開智学園，つくばみらい市，守谷市）負担による事業で，合同による定期協議を実施し，成果が向上している。鉄道を跨ぐ工事のため管理者（関東鉄道(株)）への委託工事となるが今後も協議を密に実施し成果の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	全体の整備スケジュールに沿って進捗しており，今後も早期の供用開始を目指し事業を進める。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	179,805	30
	国・県支出金	0	0	0	82,500	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	97,305	30
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	0	179,805	30